

【現地⑤】生態系保全型水田整備推進事業「赤石地区」

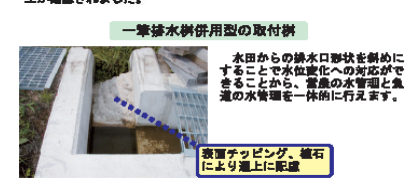
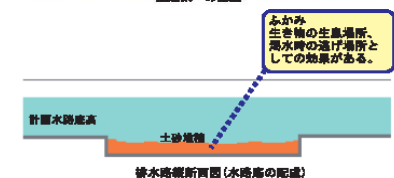
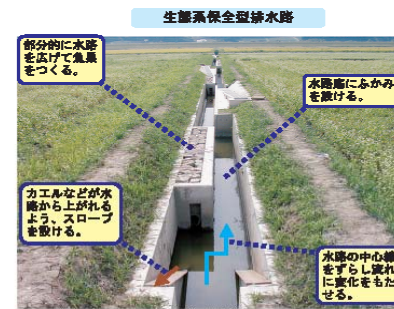
| | |
|------|--|
| 事業名 | 生態系保全型水田整備推進事業 |
| 地区名 | 赤石地区 |
| 受益面積 | 29.0ha |
| 事業工期 | H13～H16 |
| 主要工事 | <ul style="list-style-type: none"> 生態系保全型排水路(10路線) 水田魚道(59箇所) 一筆排水柵併用型取付柵 |

【事業の概要】

○田んぼがコウノトリの餌場にもなるように、餌となるドジョウやカエルなどの生息に配慮したビオトープや水田魚道、魚巣ブロック、カエルの脱出用スロープ等を組み合わせた生態系保全型排水路(59箇所 ハーフコン型魚道、波付き円型魚道、木杭打設型魚道、波付きU字型魚道)などを設置



生態系保全型工法



【現地⑥】農事組合法人「コウノトリの郷営農組合」の概要

設立：平成14年
 構成員：23名
 耕作面積：（平成20年度） 599 a
 ①水稲作付面積 595 a
 （内訳）無農薬栽培 205 a（コウノトリ育む農法）
 減農薬栽培 340 a（コウノトリ育む農法）
 ②ビオトープ 4 a

【農業組合法人の目的】

自然環境との調和のとれた地域農業と農業経営の改善を図り、コウノトリの郷公園と一体的な郷づくりを展開する中で、農業を衰退させず、持続発展させながら、環境創造型農業を推進する。

【活動年表】

- H 8 祥雲寺を考える会を結成
- H 9 コウノトリの棲む郷づくり研究会に改名
- H13 コウノトリの郷営農組合準備委員会設置
- H14 コウノトリの郷営農組合設立
- H15 コウノトリ育む農法（無農薬）に初挑戦
 第1回田園自然再生活動コンクールで祥雲寺地区が農林水産大臣賞を受賞
 水田魚道、水田ビオトープ等を設置
- H16 ひょうご安心ブランドの認定の「コウノトリの郷米」がスーパーで店頭販売
- H17 コウノトリの試験放鳥（4羽）
 コウノトリ育む農法無農薬タイプの抑草技術に成功
- H18 コウノトリの郷営農組合が農林水産大臣賞を受賞

【基盤整備】

- S45～48 団体営ほ場整備事業 三江地区
 （実施面積65.0ha 総事業費124,197千円）



農地・水・環境保全向上対策
「三江保全の会」



米ヌカペレットによる抑草試験田



豊岡市で最初の水田魚道（木製2連型）